

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、輸出や生産は、一部に持ち直しの動きがあるものの、海外経済減速などの影響から足踏み状態となっている。

企業収益が悪化しているなか、設備投資は弱めの動きがみられる。雇用が徐々に改善するも、個人消費は緩やかに持ち直している。

先行きについては、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年5月22日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

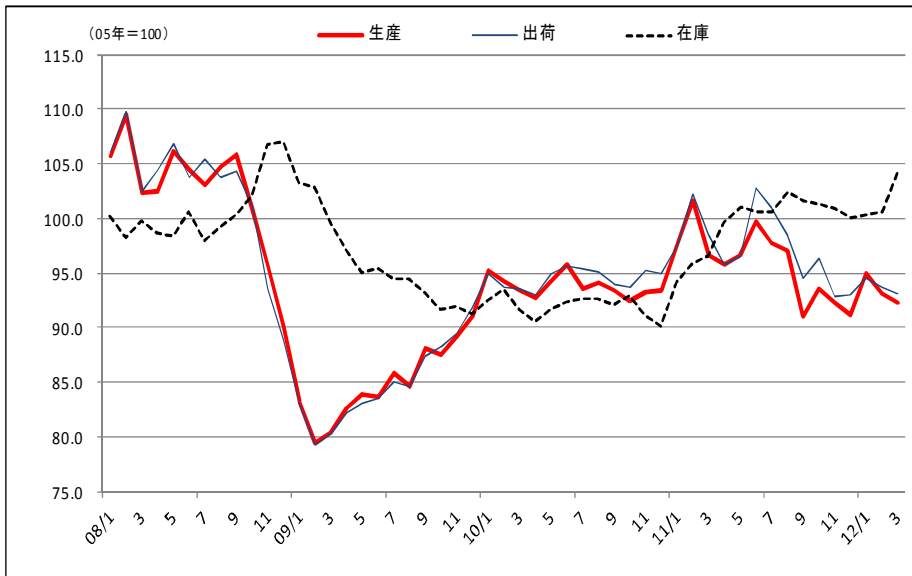
輸出入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

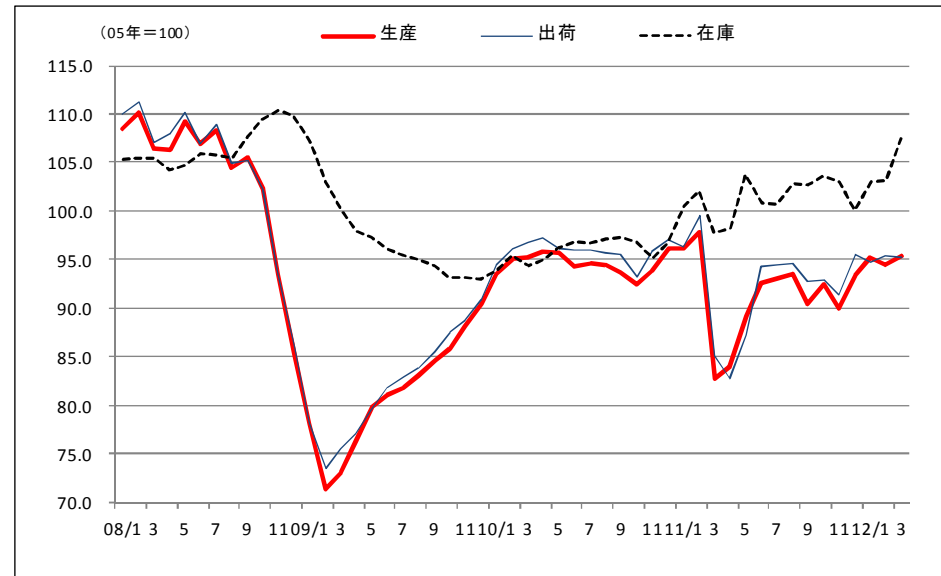
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年3月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年3月速報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業
生産指数
(前月比、%)

* 網掛は、生産が
前月比プラスの業種

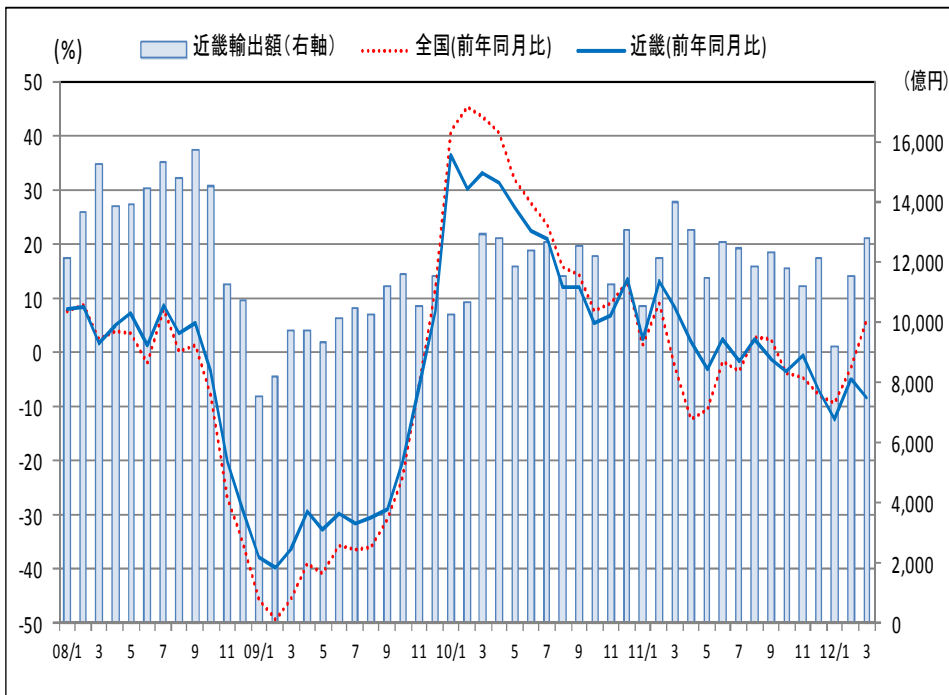
	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿1月	4.2	4.1	1.1	10.5	▲ 1.9	12.3	▲ 6.0	▲ 0.8	5.9	1.8
近畿2月	▲ 2.1	2.4	▲ 3.6	▲ 7.6	▲ 1.6	30.4	9.7	▲ 4.7	▲ 3.1	▲ 0.6
近畿3月	▲ 0.9	1.8	0.9	▲ 5.4	1.6	▲ 22.6	▲ 10.8	1.4	0.2	3.0
全国3月	1.0	1.7	0.4	0.7	0.3	7.3	▲ 2.4	2.7	—	—

・ 近畿の3月（速報）の鉱工業生産指数は、92.3。前月比▲0.9%と2カ月連続の低下。総じて見れば、生産は横ばい。
出荷は前月比▲0.5%の93.2と、2カ月連続の低下。在庫は、前月比+3.8%の104.4と3カ月連続の上昇。
業種別にみると、一般機械工業、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業などが低下に寄与。
品目別にみると、ガスタービン、無線応用装置、電気冷蔵庫の生産が低下。

・ 全国の3月（速報）の鉱工業生産指数は、95.3。前月比+1.0%と2カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は持ち直しの動き。
出荷は、前月比▲0.1%の95.2と2カ月ぶりの低下。在庫は、前月比+4.3%の107.5と2カ月ぶりの上昇。
業種別では、輸送機械工業、情報通信機械工業、窯業・土石工業製品などが上昇に寄与。
製造工業生産予測調査によると、4月上昇の後、5月は低下を予測している。

～輸出入～

輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年3月まで）

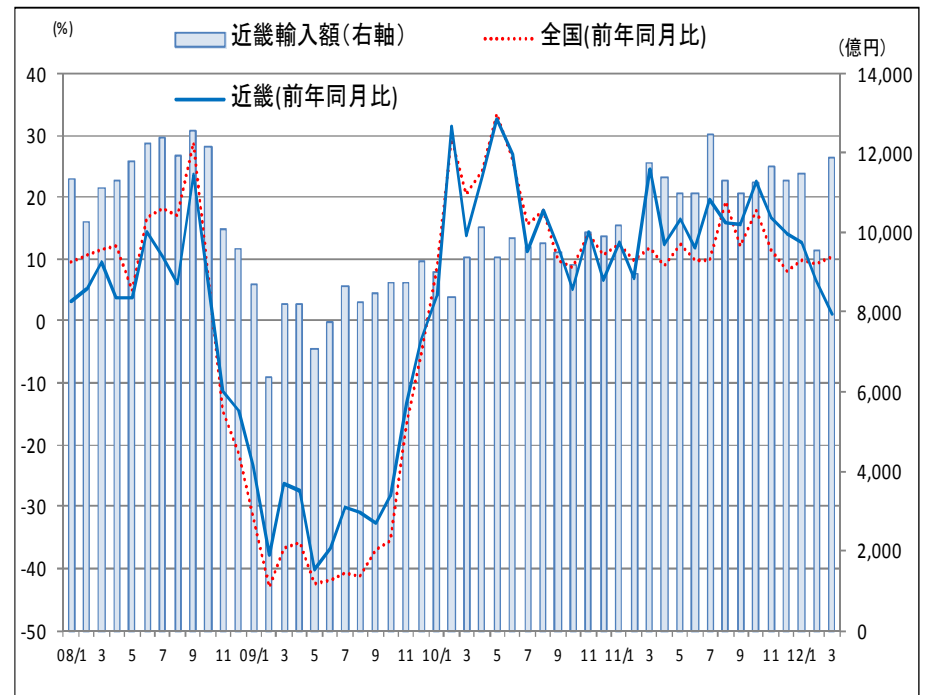


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

○近畿の月次の輸出動向（2012年3月まで）

- ・ 3月の近畿の輸出額は1兆2,835億円、前年同月比▲8.3%。
7カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・ 地域別では、アジア向けが前年同月比▲7.2%と6カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲10.0%と4カ月連続のマイナス。
EU向けは同▲17.4%と8カ月連続のマイナス、米国向けは同▲10.4%と2カ月ぶりのマイナス。
- ・ 集積回路（台湾向）、デジタルカメラ（中国向）、荷役機械（中国向）が減少。金属加工機械は過去最高。
- ・ 全国の3月の輸出額は6兆2,042億円、前年同月比+5.9%と、6カ月ぶりのプラス。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年3月まで）

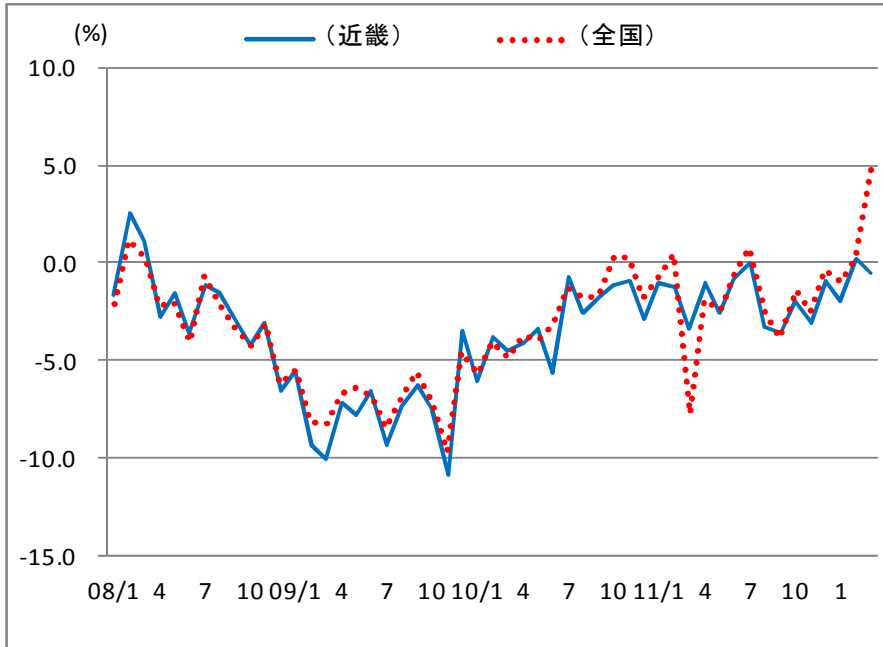


○近畿の月次の輸入動向（2012年3月まで）

- ・ 3月の近畿の輸入額は1兆1,887億円、前年同月比+1.2%と27カ月連続のプラス。
- ・ 天然ガス及び製造ガス、非鉄金属鉱・石炭・通信機価額が3月として過去最高額。
- ・ 地域別では、対アジアが前年同月比-5.7%と27カ月ぶりのマイナス。アジアのうち対中国が同▲7.9%と2ヶ月連続のマイナス。対米国が同-15.8%と2カ月連続のマイナス。対EUは同-15.4%と13カ月ぶりのマイナス。
- ・ 全国の輸入額は6兆2,868億円、前年同月比+10.5%と27カ月連続のプラス。

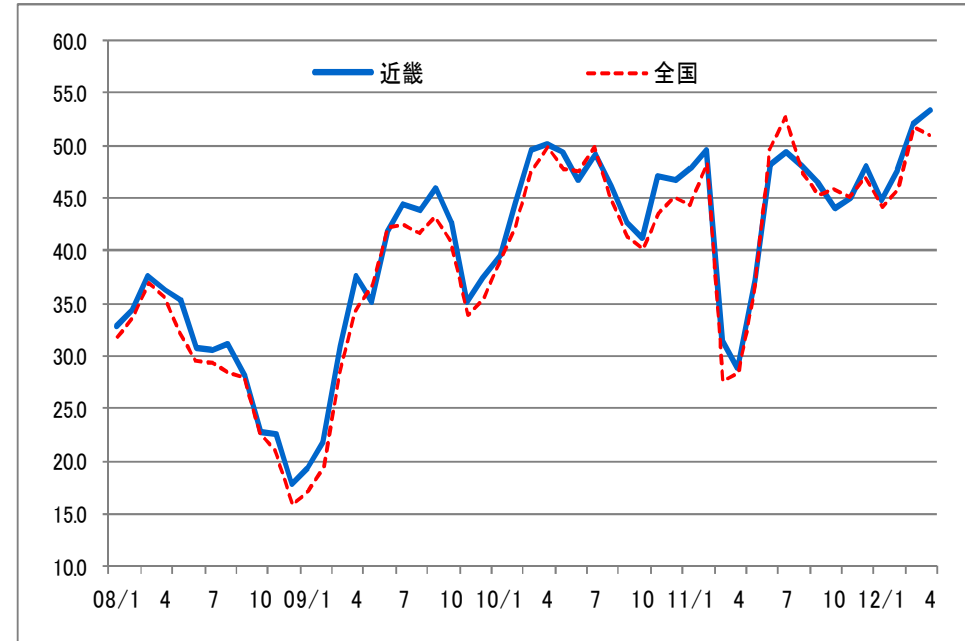
～個人消費～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年3月まで）



(出所) 近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2012年4月まで)



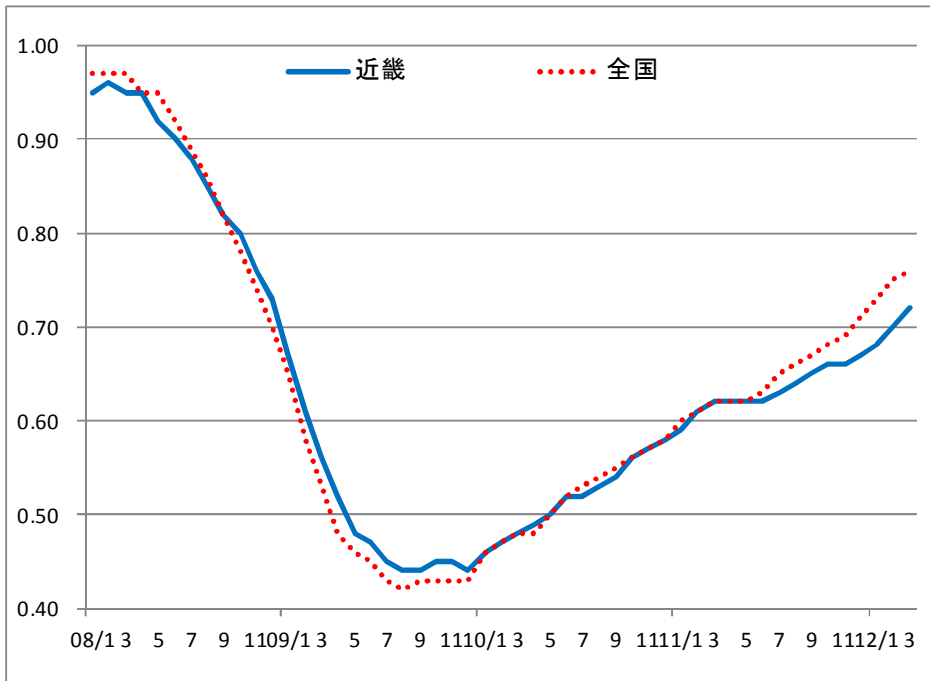
(出所) 内閣府

- ・ 近畿の3月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲0.5%と2カ月ぶりのマイナス。
- ・ スーパーは同▲1.9%と40カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同+1.8%と、2カ月連続のプラス。
- ・ 前年の震災の反動で、備蓄型食品や防災関連商品が減少。
- ・ 衣料品などが増加し、全店ベースでは同1.2%増と4ヶ月連続のプラス
- ・ 全国の3月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同+5.0%と2カ月連続のプラス。

- ・ 4月の近畿の現状判断DIは前月比+1.3ポイントの53.3と、3カ月連続の上昇。個人消費は総じて好調。円高で海外旅行が順調だが、国内旅行も一番良かった4年前を上回りつつあり、円高だけの影響ではない。
- ・ 全国の4月の現状判断DIは前月比-0.9ポイントの50.9と、3カ月ぶりに低下。
- ・ 近畿の4月の先行き判断DIは前月比+2.1ポイントの51.2と、3カ月ぶりの上昇。ガソリン価格の上昇などマイナス要因があるが、関西企業の3月決算が好調なことから、個人消費に影響を与えていると考えられる。
- ・ 全国の先行き判断DIは同+1.2ポイントの50.9。

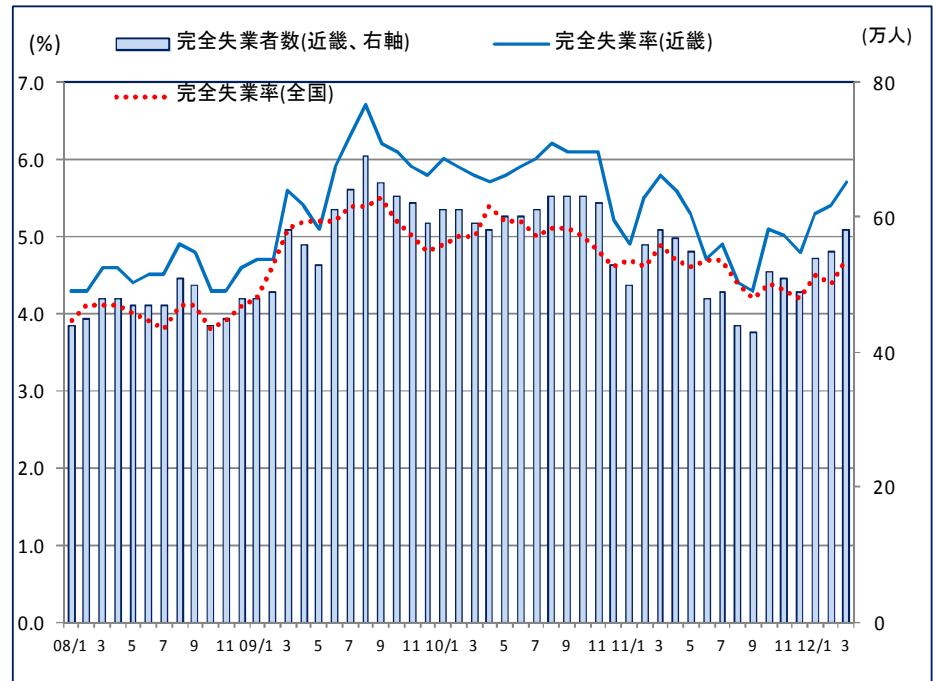
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年3月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年3月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率（2012年3月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.76	0.54	0.79	0.75	0.80	0.92	0.97	0.72	0.91	0.85	0.63
0.01	▲0.01	0.04	0.02	0.01	0.00	0.04	0.02	0.02	0.00	0.01

・2012年3月の近畿の有効求人倍率は0.72倍、前月比+0.02ポイントと5カ月連続の改善。

- ・全国は0.76倍で、前月比+0.01ポイントの改善。
- ・地域別の前月比では、北海道のみが低下。東北は10カ月連続の改善。

- ・3月の近畿の完全失業率（原数値）は5.7%。前月比+0.3ポイントの悪化。前年同月比では-0.1ポイントの改善。
- ・3カ月連続で悪化。夏に向かったの電力不足が解消されていないことが影響していると考えられる。
- ・3月の全国の完全失業率（原数値）は4.7%、前月から+0.2ポイントの悪化。
- ・3月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.5%、前月と同率。

※東日本大震災の影響により、全国の2011年3～8月分結果には岩手県、宮城県、福島県の結果は含まれていない。9月分から当該3県を含む結果となっているが、沿岸部を中心に、調査が再開されていない調査区もある。